

2024 年度春季オープン競技会

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従い、競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 3) トレーナー活動は、各団体の選手待機場所にて行うこと。
- 4) 練習は補助競技場を利用し、競技役員の指示には必ず従い練習すること。
なお、練習場の詳細については、練習場注意事項を参照すること。
- 5) グラウンドおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。

2. 競技者の招集について

- 1) 招集所は、100m スタート地点後方の 11G(諸室図参照)に設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程に記載の通りとする。
- 4) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等の商標のチェックを行う。また、荷物運搬袋および、トラック種目出場者のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取ること。
- 5) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 6) 代理人による点呼は認めない。ただし、フィールド種目とリレー種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が TIC（11G 外）に用意している「重複出場者届」を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに、TIC（11G 外）に提出すること。**
- 7) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、TIC（11G 外）に用意されている「リレーオーダー用紙」に記入して、**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC に提出すること。**
- 8) 棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始時刻 2 時間前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。
- 9) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場者届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに TIC（11G 外）に提出されない場合、当該種目を欠場したものとして処理する。
- 10) リレーに 1 団体から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなし、チーム間での変更・交代は認めない。
- 12) 混成種目の招集時刻については「8. 競技について 4) 混成競技について①」を参照すること。

3. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでも良い。
- 2) トラック種目出場者は、競技者係（招集所）が配付する腰ナンバー標識を両腰の上部、やや後ろにつけること。なお、5000m、10000m、10000mW においては周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。
- 3) 5000m、10000m、10000mW、4×400mR、には、TIC にてレース用特別アスリートビブスを配付する。**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC（11G 外）に受け取りに来ること。**また、混成種目出場者には最終種目のみ特別アスリートビブスを該当種目開始前に配付する。

4) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	アスリートビブス
男 子	黄地×黒数字
女 子	ピンク地×黒数字
男子 5000m/10000m/10000mW/ 4×400mR/十種競技 1500m	白地×黒数字
女子 5000m/10000m/10000mW/ 4×400mR/七種競技 800m	白地×赤数字

4. 欠場について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合、3月7日（金）12時までは、本連盟HPに掲載をしている欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス（kanto-entry@kgrr.org）に送信すること。また、3月7日（金）12時以降に欠場を申し出る場合は、欠場届に必要事項を記入、押印しTIC（11G外）に提出すること。なお、欠場届はアスリートビブス等の事前配布物に5枚同封しているが、不測の場合は大会本部指定の用紙をTIC（11G外）、または大会インフォメーションに取りに来ること。やむを得ず大会当日にTIC（11G外）へ提出できない場合は、指定アドレス（kanto-entry@kgrr.org）に送信すること。

5. 番組編成・競技日程について

- 1) トラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。

6. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 2) 棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用すること。
- 3) 投てき物に関して、主催者が用意した投てき物としてリストに複数ないものについては、検査に合格した個人所有のもの（日本陸連検定品に限る）を2個まで持ち込むことができる。
- 4) 投てき物の持ち込みを希望する場合は、**事前に申請書を記入し**、競技開始時刻の1時間45分前から1時間30分前までに器具庫A（諸室図参照）にて受付を行い、公式計測員の検査を受け、使用することができる。なお、検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。持ち込みの投てき物は競技終了後、器具庫A（諸室図参照）にて返却する。

5)

7. 競技について

1) トラック競技について

- ① 計時は全て電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- ② 5000m以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水を用意する。
- ③ 以下の種目で一定時間内に残り1周に達しない者は失格とし、競技を中止させる場合がある。

男子 5000m	18分00秒
女子 5000m	19分30秒
男子 10000m	38分00秒
女子 10000m	40分00秒
男女 10000mW	60分00秒

- ④ 10000mWでは、先頭の競技者が残り1周となっても競歩審判員は移動しない。残り100mからフィニッシュまでの間で、競技者の歩型が競技規則TR54.2に明らかに反する時には、競歩審判員主任はその競技者に既に出されたレッドカードの有無にかかわらず、当該競技者を単独で失格にする権限を有するものとする。

2) リレー競技について

- ① リレーメンバーに関しては、TR24.10〔国際〕を適用し、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。
- ② リレー種目で同大学から2チーム出場する場合、チーム間の選手交代は認めない。

3) フィールド種目について

- ① 走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投の試技は3回とする。
- ② 練習跳躍を除き、踏み切り位置は当該競技者に示さない。
- ③ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

		練習①	練習②	練習③	練習④	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	1m70	1m90	2m05	2m10	1m70	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	2m08	+2cm
	女子	1m30	1m50	1m65	1m70	1m30	1m40	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	+2cm
棒高跳	男子	4m00	4m50	5m00	5m30	3m70	3m90	4m10	4m30	4m50	以降最後の1人となるまで 10cm刻みとする。				
	女子	2m80	3m30	3m80	4m10	2m40	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	以降最後の1人となるまで 10cm刻みとする。			

※練習の高さは練習場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

- ④ 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子を12m、女子10mとする。

4) 混成競技について

- ① 招集は1日目、2日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目のそれぞれ最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
競十技種	走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	以降+3cm	
	棒高跳	2m00	2m30	2m50	2m70	2m90	3m00	以降+10cm			
競七技種	走高跳	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以降+3cm				

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

5) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回種目において、周回遅れか、周回遅れになりそうな選手に競技者がペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③ フィールド種目に出場している選手に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とする。

6) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアをメインスタンド・サイド芝スタンド・バックスタンドに設ける。

8. 結果発表と抗議について

- ・各種目の結果の正式発表は、場内アナウンスおよび紙の掲示（1G 階段下）にて行う。
- ・フィールド種目において、現場での抗議（競技中の抗議）があった場合、審判長により該当する事項を保全するためにその試技を計測、記録することが認められる。
- ・競技会中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、TIC (11G 外) にある抗議受付用紙に記入する。その後、大会本部に常駐の審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

9. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕」を遵守すること。基準を超える商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等で隠すこと。

10. 衣類の管理について

- 1) 荷物運搬用としてビニール袋を招集所で用意する。団体名、氏名、組数を招集所入り口で記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等はビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。

11. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2024 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

12. その他

1) 入場規制について

今大会では、以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
コーチングエリア	競技役員・チームスタッフ
グラウンド・招集所・ミックスゾーン	競技役員・選手
各諸室	競技役員
混成競技控室	混成競技出場選手

- 2) 競技運営上、競技日程を多少変更する場合がある。
- 3) 競技終了後は、種目・ラウンドに関わらず、必ずミックスゾーンを通ること。
- 4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。